

心臓血管外科

高知大学医学部外科学（外科2）講座

渡橋 和政教授が外来診療を行います

- 心臓血管外科では次のような症状の方を診療しています。
- 安静時の胸が締めつけられるような胸痛、運動時の胸痛（例えば心筋梗塞や狭心症）
 - 階段昇降時の息切れ、夜、横になって寝ると息苦しくなる（例えば弁膜症）
 - 検診で心臓の雑音や心電図異常を指摘された（例えば先天性心疾患や弁膜症）
 - 胸部レントゲン写真で心臓が大きいとされた（例えば弁膜症）
 - お腹で拍動を感じる（腹部大動脈瘤）
 - 一定の距離を歩くとふくらはぎが痛くなって休まないといけない（閉塞性動脈硬化症）
 - 足の血管が浮いて瘤のようになっている（下肢静脈瘤）



渡橋 和政 先生

【略歴】

- ・ 1957 年生まれ
- ・ 1982 年広島大学医学部卒業
- ・ 1988～1990 年 米国 Albert Einstein 医科大学に研究留学
- ・ 1991 年～ 広島大学第一外科で胸部心臓血管外科 修練、研究、教育兼務
- ・ 1999 年 広島大学医学部附属病院第一外科講師
- ・ 2006 年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科准教授
- ・ 2011 年 高知大学医学部外科学（外科2）講座教授

【資格】

- 日本外科学会認定医、指導医、外科専門医
- 日本胸部外科学会認定医、指導医
- 心臓血管外科専門医
- 日本脈管学会専門医
- 国際心臓血管外科学会国際会員
- 日本超音波学会専門医、指導医
- 日本血管外科学会評議員
- 日本脈管学会評議員
- 日本人工臓器学会評議員
- 日本心臓血管麻酔学会評議員

● 著書

- ・ 経食道心エコー法マニュアル（第4版）、南江堂、2012年
- ・ ER・ICUエコー活用術、へるす出版、2002年
- ・ DVDでみる経食道心エコー法アドバンス、南江堂、2007年
- ・ 心臓の病気（一般書）、保健同人社、2007年
- ・ 心臓手術後の生活ガイド、保健同人社、2008年

外来診療予定日時

12/2・1/6

2/3・3/10

PM2:00～PM4:00 土

さめうらぎヤリ

12月下旬から開催予定
「パッチワークキルト展」
 土佐町に住む手作り大好きな仲間が、月に1度集まって、楽しんでるパッチワーク。メンバーの一人ひとりが好きな物を、一針一針思いを込めて作ったキルト作品を展示します。

「長野房子様書道展」
 本山町吉野在住で書道の師範、長野様は高知県女流展や四国三郎吉野川源流展などで数々の受賞経験を持ち、精力的に活動されていきます。今回は、年末年始にふさわしい書をお借りして展示します。



▶旧相川小学校の校舎など、身近な題材をパッチワークにした作品

インフルエンザ 予防接種開始

インフルエンザは気温と湿度が低くなる12月後半から急激に流行し、1月から2月が毎年流行のピークとなります。予防接種の効果は、接種後2週間から5か月間は持続するとされていますので、お早目の接種をおすすめします。65歳以上の方は、又は特定の障害のある60歳以上の方は、公費の補助があるため、自己負担金千円円で受けられますが、平成30年1月1日以降は全額個人負担となります。

※予防接種をご希望の方は病院受付
 (☎0887・82・0456) までお問い合わせください。

